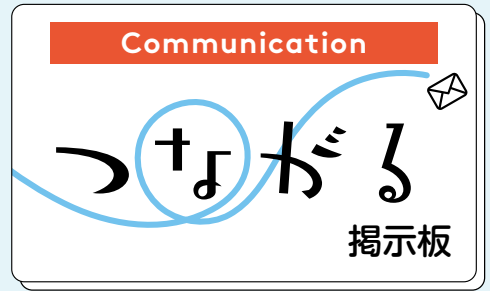


このコーナーは、市民の皆さんからの
 便りにお答えする「つながる」掲示板です。
 広報ながさきの感想やまちづくりに関するご意見を
 プレゼントクイズのコーナーにお寄せください。
 掲載されたかたには、図書カードをプレゼントします。



✉ 原爆資料館の正面にある木が被爆樹木だと知りました。山王神社のクスノキ以外にもあったとは知りませんでした。
 (さくらの里1丁目・20代のかた)



クスノキ以外にも市内にはツツジやマツなどの「被爆樹木」があります。

被爆樹木は原爆の爆風や熱線に耐え、現在まで生きながらえた樹木です。原爆資料館の淀川ツツジや五葉松もその1つで、他にも柿の木やソテツなど市内に50本の被爆樹木があります。

市では、これらを被爆の惨状を後世に伝える貴重な資料として、毎年樹木医による診断を行い、状態に応じた保存整備に取り組んでいます。市はこの活動の推進のため、「クスノキ基金」を設置していて、市役所1階や原爆資料館の募金箱、ふるさと納税などから寄附できます。

詳しくは、右の二次元コードから「長崎クスノキプロジェクト」のホームページをご覧ください。



また、被爆クスノキの種から育てた2世の苗木を、庁舎移転に合わせて令和5年に市役所の正面に植樹しました。被爆地として平和への思いを発信しています。

(被爆継承課 ☎844-3913)
 (庁舎管理課 ☎829-1411)



▲ 原爆資料館正面の被爆樹木



庁舎前広場の被爆クスノキ2世 ▶

今月のプレゼント

今月をご覧の商品をプレゼント!!

クイズ

8月1日にスタートする救急安心センターの電話番号は?

(ヒントは裏表紙)

答え

#0000

『からすみスライス・そばろセット』

株式会社 小野原本店

10名様にプレゼント

食べやすい大きさにスライスしたからすみと、ほぐしたそばろのセットです。日本三大珍味とも言われるからすみ。お酒のおつまみにはもちろん、パスタなど料理のアクセントにもピッタリです!



☎ 095-824-0261

🔍 小野原本店

応募方法

①答え ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥興味を持ったコーナー名 ⑦広報ながさきの感想やまちづくり全般の意見を、市ホームページかはがきで。(8月31日㊦締切)

※個人情報にはプレゼントの発送に使用します。また、意見の内容によっては担当課に情報提供する場合があります。

【市ホームページ】トップページ「市民参加」の「プレゼントクイズ」

【はがき】〒850-8685 (住所は記載不要)

長崎市役所「広報ながさき」プレゼント係
 発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。お便りは、広報紙などで紹介する場合があります。



【7月号の答え】 アーチェリー

6月号には178通のお便りをいただきました。ありがとうございました。

「模擬原爆」と被爆クスノキ2世

昭和20年8月、広島と長崎に原子爆弾が落とされました。その約3週間前の7月20日から日本全国に49発の模擬原爆が投下されたことはあまり知られていません。

模擬原爆は、形、大きさ、重さとも長崎に投下された原子爆弾（ファットマン）に似せて作られた爆弾です。橙黄色に塗装されていたことから、「パンプキン爆弾」とも呼ばれています。



▲パンプキン爆弾の模型 (写真提供 大津市歴史博物館)

投下の目的は、投下から爆発までの弾道や爆発の効果測定するため、攻撃部隊が原子爆弾の投下後に爆発に巻き込まれないように練習するため、などと言われています。

模擬原爆の投下は8月9日以降も行われ、14日に愛知県の陸軍施設や自動車工場などに7発が投下され、終戦を迎えたのでした。

模擬原爆には核物質は使われていませんでしたが、この「予行練習」により、少なくとも1,700人以上の死傷者が出たとされています。

福島市^{わたり}渡利地区では模擬原爆により14歳の少年が亡くなりました。近くの瑞龍寺には、このときの模擬原爆の破片が保管されています。瑞龍寺には長崎市から福島市へ贈られた山王神社の被爆クスノキの2世が植樹されています。



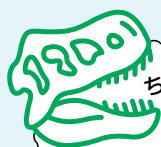
▲福島市で成長した被爆クスノキ2世 (写真提供 瑞龍寺)

参考

「原爆投下部隊 第509混成群団と原爆・パンプキン」
工藤洋三・金子力／著

編集こぼれ話

高浜地区の子ども会や市民団体team長崎シー・グリーンが海水浴場を清掃。拾ったごみが七夕飾りによみがえりました。願いごと、叶うといいですね。取材担当の願いはもちろん、きれいな海をずっと残せますように!



恐竜図鑑

『アルティリヌス』



(分類) 鳥脚亜目・イグアノドン類 / (時代) 白亜紀 / (産地) モンゴル
中～大型の植物食恐竜です。最初は違う名前で発表されましたが、その後の研究で「高い鼻」という意味の学名に改められました。そして、アルティリヌスを発見した地層からアルティリヌスとそっくりのチョイロドンという恐竜が見つかっています。今後の研究で、2つが同じものだと分かれば、また名前が変わってしまうかもしれません。



【学芸員】
小平さん



問い合わせ

恐竜博物館 ☎898-8000